

電子行政を実現する 制度のあり方について

2010年12月14日

東洋大学

山田 肇

情報化に投資すること

- 投資よりも利益（見返り）が大きいと期待されるとき、ヒトは投資する —これがすべての原則—
- この10年間進めてきた電子行政は、利用者にとってどのような見返りをもたらしてきたのか
- 電子申請のオンライン利用率は平成21年度で公称40%に過ぎない。紙の申請を単に電子に置き換える目先の対応だけでは、利用者はもたらされる見返りは不足しているのではないか

住民票のコンビニ交付を誇るが

- 役所だけでの交付にコンビニ交付を加えるのは一見前進だが、所詮出向かなければならないので利用しようという気持ちにならない
- 電子行政に関するタスクフォース第1回資料(10年9月15日)によれば、市川市でのコンビニ交付件数は半年間で2457件。同資料によると同市における年間交付件数が47万件ということなので、**利用率はわずか1パーセント**

コンビニ交付と情報化投資

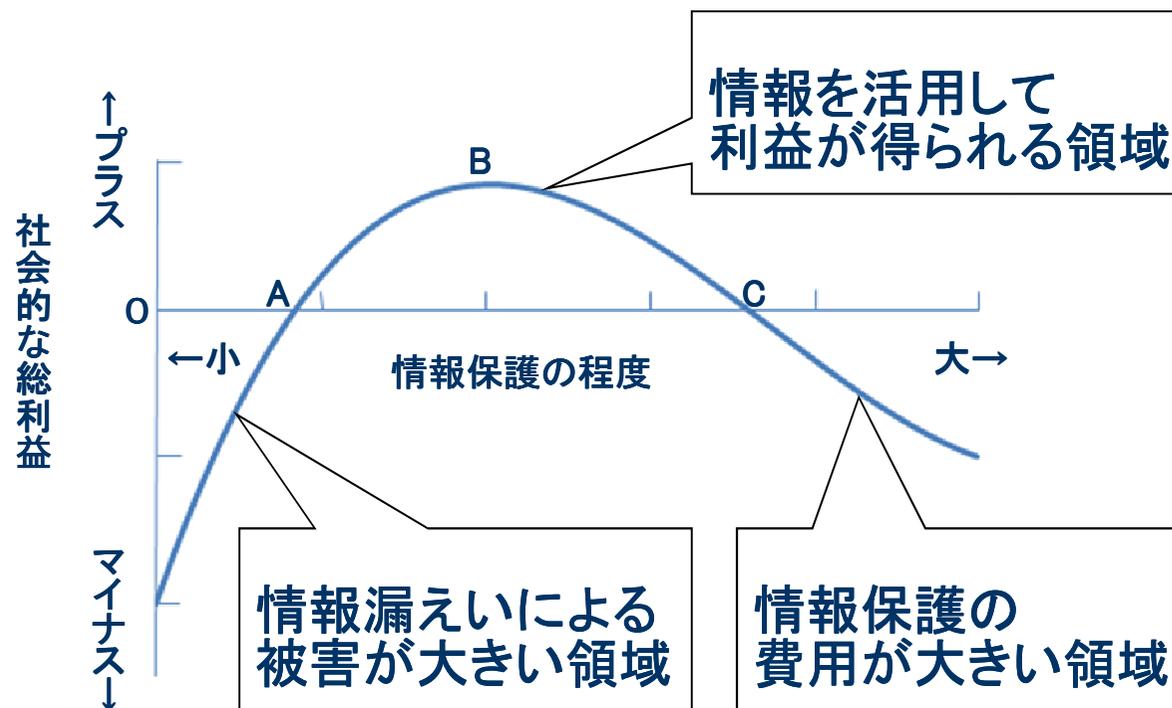
- 情報化の場合、見返りとして期待できる利益は二種類で、経費の節減と新しい価値の創造
- 役所まで出向く面倒がコンビニで済むのは経費の節減に相当するが、新しい価値の創造はない
- **抜本的に改善し新しい価値を生むには**
 - 住民票や印鑑証明書の大半は公的申請での本人確認に利用されているので
 - 申請を受けた際、住基ネットで確認する等、行政機関間での情報連携があれば交付は不要になる

確定申告の強すぎるセキュリティ策

- e-Taxの利用率が約4割にとどまる一因は、紙での確定申告なら三文判で本人確認もせずに受け付けるのに、電子では住基カードと公的個人認証サービスの電子証明書が必要だから
- **抜本的に改善し新しい価値を生むには**
 - 源泉徴収票等は、支払い側から電子データを得て、申告者からの提出を不要にする
 - 「なりすまし」申告で利益を得る者がいないのなら、ID・パスワードでの認証で済ます

情報の保護と活用はバランスが必要： 過剰なセキュリティは社会的にマイナス

- 政府は無謬・絶対安全であるべき、という過剰な期待から、情報の利活用・連携が停滞



抜本的な改善による 新しい価値の創造が必要

- 府省の壁を取り払い、電子に最適な業務プロセスを構築する必要。つまり、**電子行政の推進は行政改革そのもの**
- 府省間、政府・地方公共団体との情報連携は必要不可欠
- **国民IDだけでは、情報連携に本来期待される価値は実現しない**
- 民間との情報連携も促進すれば、民間の力で新しい公共サービスが誕生する可能性がある

行政改革に取り組む政府CIO

- IT戦略担当大臣が自覚のないまま政府CIOと呼ばれ、技術に疎い官房長が府省CIOで、その下に派遣社員のようにCIO補佐官を置く、だれも責任を取らない現体制が、二流の電子行政の根源
- 国家経営の幹部として、府省横断的に業務プロセスの改革については行政改革を管理し、情報資源を計画し、プロジェクトを実施するチームのリーダーとして政府CIOを位置付ける

政府CIOの役割は

- 行政改革のキーパーソン・イノベータ
 - 情報技術を変革的・創造的に利用する組織を構築する
 - 業務の継続性に甚大な被害を及ぼす災害から組織を守る
 - 人材や情報資源の調達と管理を最適化する
- 府省・地方公共団体・民間との情報連携を実現するインタフェース標準の制定（厳密にはCTOの役割かもしれない）

6. 主要先進国の政府CIOの設置状況

■主要先進国では、電子政府推進のため政府CIO(最高情報責任者)を設置

【米国】 オバマ米国大統領は、2009年3月、大統領府に**連邦政府CIO**を設置。初代にクンドラ氏(行政管理予算局 電子政府・IT室長 兼 各府省CIO評議会事務局長)を指名。

- ◆電子政府の投資戦略・計画を指揮し、連邦政府のIT投資を監督
- ◆連邦政府システム間の相互運用性と情報共有を確実とするため全体アーキテクチャを策定・監督
- ◆情報セキュリティ・プライバシーの確保

連邦政府CIOは、大統領府の連邦政府CTO(最高技術責任者)[®]と緊密に連携。

※オバマ大統領は、2009年4月、連邦政府CTOの初代にChopra氏(科学技術政策局副局長)を指名。

【カナダ】 2009年5月、予算庁に設置されている**カナダ政府CIO**に、前トランサットAT社(航空会社)副社長兼CIOのカレット氏を指名。

- ◆カナダ政府機関のITに関する戦略・指針・政策の策定
- ◆その他、情報管理、セキュリティ、プライバシー保護、情報へのアクセス等も担当

【英国】 2006年6月、内閣府に設置されている**政府CIO**に、英国首相の承認を得て前IT刑事犯罪所長のサフォーク氏が就任。

- ◆各府省CIO評議会の議長として、英国公共機関のIT戦略をとりまとめ
- ◆ITの戦略的な展開を通じて英国公共サービスを改革
- ◆公共機関の間接部門を共有するサービスの発展を促進

【豪州】 2005年4月、予算・行政省に**豪州政府CIO**を設置。初代にスチュワード氏(同省情報管理局长)を指名。

- ◆各府省CIO評議会の議長として、豪州政府機関のIT戦略をとりまとめ
- ◆政府機関におけるICT活用・管理で最大限の改革を実施

2. 調査結果概要 ①政府CIOの権限・責任・地位について

各国における共通的な事項・特徴

▶国全体にわたる情報通信戦略の策定責任者

- ・ ITに関わる国家の方針・戦略さらに、実施上必要なガイドライン・標準の策定・定着について責任を有する。
- ・ これらの国家IT施策・プログラムを各省庁だけではなく、メディアを通じてスポークスマンとしての役割も重視される。

▶職務・人事・予算の観点で一定の権限を発揮

- ・ **職務の権限**: 特定のプログラム・プロジェクトに対するマネジメント(品質・進捗など)を実施
- ・ **人事の権限**: 政府CIOオフィスメンバーには、人事権を有する、もしくは影響力を行使。但し、各省組織への人事権限は持たない
- ・ **予算の権限**: 各省のIT予算に対するチェック権限有し、また助言を行う場合もあるが、決定権は各省CIOの権限

【各国政府CIOにおける主たる権限】

- ✓ 国家レベルのIT戦略の策定・実行支援・調整
- ✓ 国家レベルの情報化取り組みに関する年度毎の進捗及び効果測定モニター
- ✓ オープンアーキテクチャ・エンタープライズアーキテクチャ適用の推進
- ✓ セキュリティ戦略と実施
- ✓ CIOオフィスの運営
- ✓ 省庁共通業務へのIT適用ITマネジメントに対するベストプラクティスの共有
- ✓ 各省庁予算の助言・無駄のチェック
- ✓ (情報発信戦略(Web戦略等)策定…英国)
- ✓ (電子政府満足度調査…豪州)

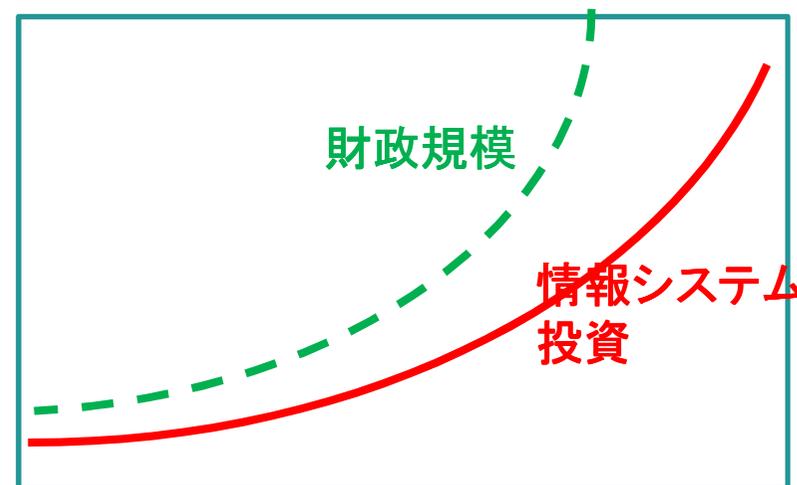
特定国における特記事項

・英国新政権下での政府CIO組織は目下刷新に向けて検討中

- 2010年5月に保守党のキャメロン首相と自由民主党(中道左派)のグレッグ副首相との戦後初となる連立政権が誕生したことにより、大胆な改革なされることが予想されている。
- 政府内に位置づけられていたCIO評議会についても新政権のもとで、役割や責任範囲、位置づけなどについて再検討されており、現在の政府CIOであるJohn Suffolkも退任するかもしれない役割の再定義が行われると考えられる。
- 新官房長官Francis Maudeは本件について興味を示しており、各種課題について制度/規制ではなく政治的な義務付けを行おうとしている模様。

地方公共団体への支援も必要

- 地方公共団体に共通する情報システムであっても、ベンダーが囲い込み個別開発する現状
- 小さな地方公共団体は財源・職員数に限界があり、情報連携への対応を求めても滞る恐れ
- 支援は政府CIOの役割の一つ。地方分権に反することではない



地方公共団体の規模

政府CIOを設置すれば済むか

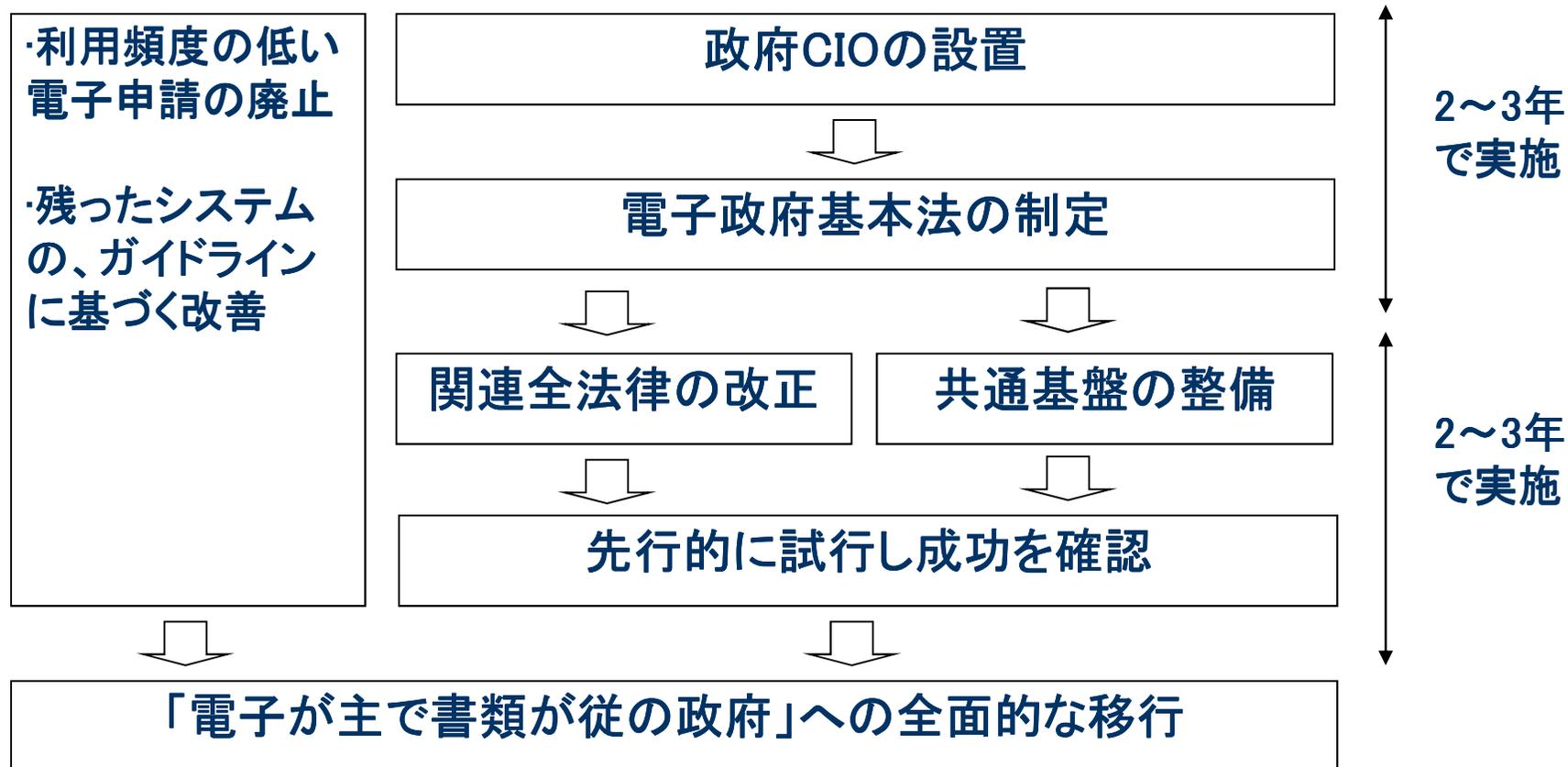
- 真の問題は『紙の政府』を『電子の政府』に変えていこうという意思が明示されていないこと
- 今のままでは、『紙の政府』と『電子の政府』の併存という無駄な状況が続くが、団塊世代の自然減と定員削減で紙の政府はいずれ立ち行かなくなる
- 「電子でできることを紙で行ってはならない」と宣言する必要がある

(例) 韓国における電子政府基本法 — 2001年施行 —

4条(行政機関の責務)

- ① 行政機関は、電子政府の具現を促進して知識情報化時代の国民の生活の質を向上させるようにこの法律を運営して関連制度を改善しなければならない。
- ② 行政機関は、当該機関の電子政府の具現及び運営と関連して次の各号の業務を遂行しなければならない。
 1. 行政革新と電子政府の具現のための事業間の関係
 2. 電子化対象業務の処理過程革新
 3. 情報通信網を通じた業務遂行及び行政サービスの提供
 4. 所属公務員に対する情報通信技術活用能力の向上及び検定
 5. 電子政府の運営と関連した国民不満事項に対する確認及び迅速な改善

抜本的な改革のステップ



まとめ

- 強い権限を持つ政府CIOを設置し、業務改革の視座で電子行政を抜本的に見直す
- 政府CIOは各府省のみならず地方公共団体も視野に入れ、電子行政を推進する役割を担う
- 電子の政府を主とする、と宣言する電子政府基本法を制定し、関連する全法律の改正を進める
- 三流国に落ちぶれないためには、残された時間は少ないと自覚してほしい